科学研究費助成事業 研究成果報告書



平成 26 年 6月19日現在

機関番号: 3 2 6 1 0 研究種目: 若手研究(B) 研究期間: 2010~2013 課題番号: 2 2 7 9 0 5 7 0

研究課題名(和文)白内障、緑内障、加齢黄斑変性のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究

研究課題名(英文)Analytical epidemiological study on the risk and the primary prevention of cataract, glaucoma, and age-related macular degeneration

研究代表者

吉田 正雄 (Yoshida, Masao)

杏林大学・医学部・講師

研究者番号:10296543

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 2,100,000円、(間接経費) 630,000円

研究成果の概要(和文): コホート対象地域の住民を対象に白内障罹患に関する追跡調査を実施した。調査開始時の肥満度(BMI)を算出し、白内障罹患との関係を解析した結果、BMIが最も低いやせている群と最も高い太っている群では、罹患リスクが高くなるU字型の傾向が認められた。

茨城県水戸地域の住民を対象に眼圧に関連する因子を解明するための大規模疫学研究を実施した。解析の結果、血圧、BMIおよび喫煙習慣は眼圧と正の関連があり、特に喫煙者では眼圧高値を伴った血圧高値者が有意に多いことが確認された。さらに、対象者を約3.5年間追跡し縦断的に解析した結果、血圧およびBMIの変動量は眼圧の変動量と正の関連があることが明らかになった。

研究成果の概要(英文): This 5-year prospective population-based study was conducted, based on the data of a cohort of Japanese residents, in order to clarify the relationship of age-related cataracts to body mass index (BMI). The results demonstrated a U-shaped association between BMI and the incidence of cataract in Japanese men and women. The multivariate odds ratios of cataract for those in the lowest (<19.0) and the highest (>25.0) BMI categories, compared with a BMI category of 21.0-22.9. In this cross-sectional and longitudinal studies, we attempted to clarify whether blood pressure (BP), BMI

In this cross-sectional and longitudinal studies, we attempted to clarify whether blood pressure (BP), BM I, and smoking was associated with elevated intraocular pressure (IOP). The results of this study showed s uggest that BP and BMI had a significantly positive association with IOP and that smoking was associated w ith high IOP, especially with "high BP accompanied by high IOP". Longitudinal changes (average follow-up p eriod of 3.6 years) in BP and BMI also had a significant positive association with that of IOP.

研究分野: 医歯薬学

科研費の分科・細目: 社会医学・公衆衛生学/健康科学

キーワード: 白内障 緑内障 眼圧 予防医学 疫学 コホート研究

1.研究開始当初の背景

失明は、WHOの報告からも人類における きわめて普遍的で重要な健康損失とされて おり、高齢化の進行が顕著なわが国では、中 高年者の生活の質(QOL)低下の主要因とし て予防対策の充実化が急がれる公衆衛生学 的問題である。世界の失明の原因は白内障 (途上国では主に手術を受けられないこと による)、わが国では緑内障が最も多く、中 高齢者における QOV (Quality of vision) の 低下に大きく関わっている疾患である。しか し少なくとも本邦ではまだ、これらの疾患の リスク要因解明を目的とした大規模かつ妥 当性の高い疫学研究は実施されておらず、一 次予防方法に関するエビデンスは未確立で ある。そこで我々は、わが国の中高齢住民を 対象として、1990年より5年ごとに経時的に 集積されてきた本集団における膨大な個人 情報データベースを用いて疫学的解析を行 うことにより、これらの疾患の予防対策に資 する情報を明らかにする縦断的な分析疫学 を実施することを企図するに至った。

2.研究の目的

多目的コホート研究(JPHC Study: Japan Public Health Center-based Prospective Study)の対象地域の住民 116,896 名につい て質問票調査、血液資料および検診データの 収集、眼科検診を実施し、白内障および緑内 障の症例をもれなく無症状の段階から早期 発見するとともに、これらの疾患とベースラ イン(コホート は 1990 年、コホート は 1993年) 開始5年後、10年後、15年後、20 年後の各時点において入手された生活習慣 情報、栄養摂取情報、疾病罹患情報等の暴露 要因との関連をコホート研究により検討す ることにより、これらの疾患のリスク要因と 一次予防対策に資する情報を明らかにする。 本研究では、特に、体格(BMI)や血圧、生 活習慣(飲酒、喫煙など)と白内障、緑内障 および眼圧との関連について明らかにする ことを目的とする。

3.研究の方法

(1)研究コホートおよび対象者

白内障・緑内障研究の対象者は、1990年にスタートした多目的コホート研究(JPHC Study)におけるコホート 対象地域(岩手県二戸保健所管内、秋田県横手保健所管内、長野県佐久保健所管内、沖縄県石川保健所管内に居住する住民 54,498名、コホート 対象地域(茨城県水戸保健所管内、新潟県中央東保健所管内、高知県中央東保健所管内、高知県中央東保健所管内、神縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、沖縄県宮古保健所管内、に居住する住民 62,398名の計 116,896名である。対象者の研究開始時における年齢は、コホート は40歳以上60歳未満(1930年1月1日から1949年12月31日た者)、コホート は40歳以上70歳未満の者(1923年1月1日から1952年12月31日

に生まれた者)である。

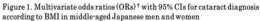
(2)ベースライン調査および追跡調査

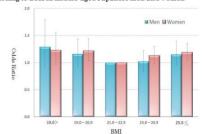
本研究コホートにおけるベースライン調 査(コホート は1990年、コホート は19933 年)では、質問票調査により 健康状態、喫 煙・飲酒、食生活、職業などの生活習慣につ いての情報を収集と血液試料および検診デ - 夕の収集(市町村の基本健康診査や職場の 定期健康診断などの機会を利用)を実施した。 その後は5年ごとに追跡調査後実施し、5年 後調査では質問票調査によりライフスタイ ルの変化、対象者の食物摂取状況(半定量的 食物摂取頻度調査) 開始より 5 年間の疾病 罹患情報、血液試料および検診データの収集 を、10年後調査では質問票調査と食物摂取状 況(半定量的食物摂取頻度調査)および5年 間の疾病罹患情報の収集を 、15 年後調査と 20年調査では質問票調査と5年間の疾病罹患 情報の収集を実施した。

4. 研究成果

(1)白内障研究の成果

申請者らは、JPHC コホート対象地域(岩手 県二戸、秋田県横手、新潟県柏崎、長野県佐 久、茨城県水戸、高知県中央東、長崎県上五 島、沖縄県石川、沖縄県宮古)に居住する住 民約7万5千人の方々を5年間追跡し、調査 開始時の身長と体重から肥満度(BMI:体重 (kg) ÷ [身長(m)²]) を算出し、BMI とそ の後5年間の白内障罹患に関する追跡調査 を実施した。解析の結果、BMI が 21.0 - 22.9 の群と比較し、BMI が最も低い群 (21 未満) の発症リスクは、男性で 1.29、女性で 1.23、 BMI が最も高い群 25 以上)の発症リスクは、 男性で 1.15、女性で 1.19 であり、BMI が最 も低いやせている群と最も高い太っている 群では、男女ともに、罹患リスクが高くなる U字型の傾向が認められた (Figure 1)。欧 米では肥満により白内障の発症率が上昇す ることが確認されている一方、栄養状態が不 良な地域においては低栄養ややせにより白 内障の発症率が上昇するとの報告もある。今 回、我々が行った追跡研究の結果、健康的な ライフスタイルを維持し、肥満ややせを回避 することが、白内障罹患率を低下させる可能 性があることが、日本人において初めて明ら かにすることができた。





 \uparrow Multivariate model adjusted for age, history of hypertension and diabetes (yes or no), alcohol intake (g/week ethanol, ALC, 0: non-infrequent occasional drinkers, ALC, 1: 1299 in men and 1-99 in women, ALC, 2: >300 in men and >60 in women), cigarette smoking (non-wookers, current smokers, and erythen dreated) and PM of the analysis of the properties of the properti

(2)研究緑内障研究の成果

日本緑内障学会が岐阜県多治見市で実施 した「多治見スタデイー」によれば、緑内障 の有病率は加齢とともに増加し、40歳以上の 5%、70%以上では 10%を超えることが明ら かになっている。緑内障は早期には自覚症状 に乏しく、視野の異常や欠損を自覚した時に は、病状がかなり進行していることが少なく ない。近年、米国で実施された正常眼圧緑内 障患者の治療中の眼圧値と視野障害の進行 に関する大規模な追跡研究によれば、たとえ 正常眼圧緑内障であっても、例外なく眼圧を 下降させることが治療上、最も重要であるこ とが明らかになっている。この研究結果から、 我々は、欧米人に比較して正常眼圧緑内障の 占める割合の高い日本人においては、正常眼 圧の範囲内で眼圧の上昇あるいは下降に関 与する因子を明らかにすることは緑内障の 予防上重要な意義があると考えるに至った。 そこで我々は、茨城県水戸地域に居住する住 民 1,113 名を対象に、緑内障の最も重要な危 険因子の1つである眼圧の上昇または下降 に関連する因子を解明するための大規模疫 学研究を実施した。眼圧値とさまざまな身体 因子や生活習慣等に関する情報との関連を 解析した結果、血圧および BMI は眼圧と正の 関連があること、喫煙習慣と眼圧は正の関連 があること、また、喫煙習慣は眼圧と正の関 連があり、特に喫煙者では眼圧高値を伴った 血圧高値者が有意に多いことが、日本人にお いても改めて確認された(Table 1, Figure 2)。 さらに、これらの対象者を約3.5年間追跡し、 血圧および BMI の変動量と眼圧の変動量との 関連を縦断的に解析した結果、追跡期間中に おける収縮期血圧、拡張期血圧および BMI の 変動量は眼圧の変動量と正の関連があるこ とが明らかになった。

Table 1. Univariate and multivariate standardized partial regression coefficients for

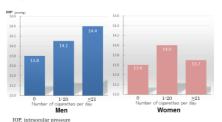
Variables*	Univariate standardized regression coefficient		Multivariate standardized partial regression coefficient			
			Model 1		Model 2	
		P value		P value		P value
MEN						
Age (years)	·0.279	< 0.01	+0.329	< 0.01	-0.311	< 0.01
SBP (mm Hg)*	0.154	< 0.01	0.205	< 0.01		
DBP (mm Hg)*	0.189	< 0.01			0.264	< 0.01
BMI (kg/m ²)	0.207	0.01	0.144	< 0.01	0.135	0.03
Cigarette smoking	0.170	0.05	0.143	0.03	0.149	0.02
Alcohol consumption	0.152	0.10	0.125	0.09	0.118	0.06
WOMEN						
Age (years)	*0.227	< 0.01	*0.295	< 0.01	*0.292	< 0.01
SBP (mm Hg)*	0.155	0.03	0.209	0.03		
DBP (mm Hg)*	0.204	0.02			0.278	0.01
BMI (kg/m ²)	0.229	0.04	0.190	0.03	0.166	0.06
Cigarette smoking	0.111	0.16	0.155	0.17	0.160	0.13
Alcohol consumption	0.905	0.21	0.097	0.30	0.086	0.22

IOP, intraocular pressures SBP, systolic blood pressures DBP, diastolic blood pressures BMI, body mass index.

'Apo, SBP (model 1) or DBP (model 2), number of cigarettee consumed per dex, alcohol consumption (newer or seldom = G several times per month = 1 several times per week = 5 everyday = 3, and regular exercisé en G by Ser = 1) were a déded as independent.

'Apo, BMI, number of cigarettee consumed per day, a choich consumption (newer or seldom = G several times per month = 1 several times per men be = 7 everyday = 9, and regular exercisé en G or yes = 1) were added as independent various per month = 1 several times per men be = 1 several times per month = 1 several times per men be = 1 several tim

Figure 2. Adjusted mean levels of IOP by number of cigarettes consumed per day



'Mean IOP levels were adjusted for age, systolic blood pressure, body mass index, alcohol consumption (never or seldom = 0; several times per month = 1; several times per week = 2; everyday = 3), and regular exercise (no = 0; ves = 1).

5 . 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に は下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

Yoshida M, Ishikawa M, Karita K, Kokaze A, Harada M, Take S & Ohno H: Association of blood pressure and body mass index with intraocular pressure in middle-aged and older Japanese residents: a cross-sectional and longitudinal study. Acta Medica Okayama 68: 27-34, 2014. 查読有 http://www.lib.okayama-u.ac.jp/www/a cta/pdf/68_1_27.pdf Yoshida M, Take S, Ishikawa M, Kokaze A, Karita K, Harada M & Ohno H: Association of smoking with intraocular pressure in middle-aged and older Japanese residents. Environ Health Prev Med 19: 100-107, 2014. 查読有

doi:org/10.1007/s12199-013-0359-1 <u>Yoshida M</u>, Meguro A, Okada E, Nomura N & Mizuki N: Association study of fibroblast growth factor 10 (FGF10) polymorphisms with susceptibility to extreme myopia in a Japanese population. Mol Vis 19: 2321-2329, 2013. 查読有

http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/arti
cles/PMC3834595/

Yoshida M, Meguro A, Yoshino A, Nomura N, Okada E & Mizuki N: Association study of IGF1 polymorphisms with susceptibility to high myopia in a Japanese population. Clin Ophthalmol 7: 2057-2062, 2013. 査読有doi:10.2147/OPTH.S52726

Yoshida M, Take S, Ishikawa M, Karita K, Kokaze A, Harada M & Ohno H: Interrelationship among blood pressure, intraocular pressure, and life-style

in middle-aged and older Japanese resident. Health 5 : 1527-1532, 2013. 香読有

doi:org/10.4236/health.2013.510207 <u>Yoshida M</u>, Ishikawa M, Kokaze A, Harada M & Karita K: Association of blood pressure and body mass index with intraocular pressure in middle-aged and older Japanese residents. Jpn J Human Ecology 79: 99-106, 2013. 查 読有

doi:org/10.3861/jshhe.79.99
Yoshida M, Inoue M, Iwasaki M, Tsugane S & JPHC Study Group: Association of body mass index with risk of agerelated cataracts in a middle-aged Japanese population: the JPHC Study.

Environ Health Prev Med 15: 367-373,

2010. 査読有

doi:10.1007/s12199-010-0153-2

[学会発表](計6件)

吉田正雄、井上真奈美、岩崎 基、苅田香苗、岳 真一郎、津金昌一郎:多目的コホート研究(JPHC Study)における白内障のリスク要因と一次予防対策解明のための分析疫学的研究 ~BMI と白内障発生率との関係~.第55回全日本病院学会、さいたま、2013年11月3日.

吉田正雄、石川 守、岳 真一郎、小風 暁、原田まつ子、苅田香苗:眼圧値の変動に関連する因子と緑内障一次予防対策解明のための分析疫学的研究.第72回日本公衆衛生学会総会、津、2013年10月25日.吉田正雄、岳 真一郎、石川 守、小風 暁、原田まつ子、苅田香苗:眼圧値の変動に関連する因子と緑内障一次予防対策解明のための分析疫学的研究~1年間の縦断研究~.第20回日本慢性期医療学会、福井、2012年11月8日.

吉田正雄、石川 守、小風 暁、原田まつ子、苅田香苗:肥満度および血圧値の変化が眼圧値の変動に及ぼす影響 ~1 年間の縦断研究~.第71回日本公衆衛生学会総会、山口、2012年10月25日.

Yoshida M, Karita K, Inoue M, Iwasaki M, Tsugane S & the JPHC Study Group: Association of body mass index with risk of age-related cataracts in a middle-aged Jaoanese population. 19th International Epidmiology Association World Congress of Epidemiology,

Edinbutgh (Scot land), Aug 9, 2011. <u>吉田正雄</u>、石川 守、細井克美、糸井英雄、 苅田香苗:肥満度および血圧値の変化が 眼圧値の変動に及ぼす影響.第51回日本 人間ドック学会学術大会、旭川、2010年 8月26日.

[図書](計0件)

[産業財産権]

出願状況(計0件) 取得状況(計0件)

〔その他〕 なし

6. 研究組織

(1)研究代表者

吉田 正雄 (YOSHIDA, Masao) 杏林大学・医学部・講師 研究者番号:10296543

(2)研究分担者 なし (3)連携研究者なし